

## 補助金評価シート(平成20年度実績分)

### (1) 補助金事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
97011	女性団体連絡協議会活動費補助金	教育委員会	社会教育係	林一昭	福島博久	
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 30 日	連絡先(内線)	2508	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1050	社会教育総務事務		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	6章	活気に満ちたまちづくり		
		節 (コード選択)	節	#N/A		
		項(基本施策) (コード選択)	632	男女共同参画社会の形成		
		主な取り組み (コード選択)		#N/A		
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input checked="" type="checkbox"/> その他	男女共同参画プラン			
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (開始) 9 年度 ~ (終了予定)	年度			
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他( )				
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称: )				
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)					

### (2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	---	-----------------------------

( 交付団体名 : 辰野町女性団体連絡協議会 )

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町女性団体連絡協議会の実施している事業計画を円滑に実施し、辰野町における女性団体の横の連携を蜜にし、情報交換と親睦を図りながら資質向上を目指す。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	辰野町女性団体連絡協議会の行う事業に対して補助金を交付する。
2	

### (3) 補助金事業の実績【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		年度(見込み)	
①	指標名	女性団体連絡協議会の事業回数		7	7	6	7
	説明	女性団体連絡協議会の事業回数		目標値設定の根拠 20年度実績値とした			
②	指標名						
	説明			目標値設定の根拠			

### (4) 交付額実績/計画の推移【Do2】

		平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度										
補助対象経費(円)		85,750			77,159			80,000			80,000										
補助率		58.3%			64.80%			62.50%			62.50%										
交付額(円)		50,000			50,000			50,000			50,000										
財源内訳	国庫支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他																				
	一般財源	50,000			50,000			50,000			50,000										
人件費の概算		(千円)																			
対前年比								%													
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
		H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22							
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.01	0.01	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05	432	428	402	402
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0	0	0	0					

**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	女団連は各種女性団体の連絡・調整組織としての活動が求められている。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	男女共同参画社会の形成上必要である。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	女団連は各種女性団体の連絡・調整組織としての活動が求められている。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	B	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	補助金額も小額であるため、今後同協議会の自主財源による運営も考えられる。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	B	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	事業自体が意識啓発に及ぶ事業が多い。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	団体同士の連携を深めることができた。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	対象団体は1団体のみ
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	補助額について見直しを行った。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		女性団体の連携を蜜にし、審議会、委員会等も積極的に参加いただいている。		

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)	
--------	--

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	21年度予算見積積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
現時点では構成団体の運営費も厳しく構成団体の負担増を求められない。	[反映内容]		

**(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
補助金だけでなく、できる限りの支援を行い、活動がさらに活発になることを期待する。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

上記 a ~ c を選択